

平昌2018大会における輸送の状況

－ オリンピック・ルート・ネットワーク －



①オリンピックレーン設置区間

②オリンピックレーン標示

③標識設置状況

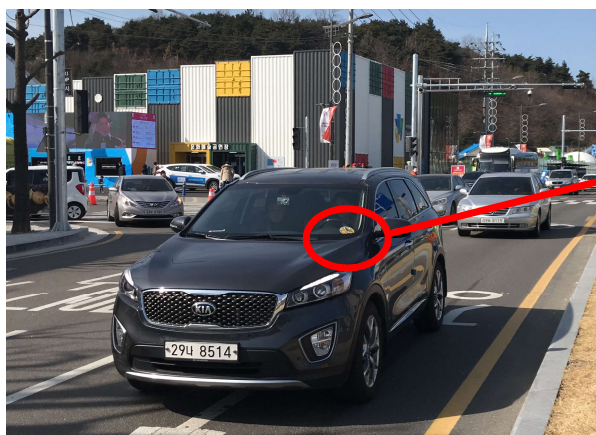
都市間を結ぶ高速鉄道(KTX)以外の鉄道網がなく、観客、大会スタッフもバス輸送で対応

- ① 2つのクラスターを結ぶ高速道路等において「オリンピックレーン」を設置
- ② 「青いレーンマーク」と「オリンピックマーク」にて、通行帯を明示
- ③ 路肩や頭上への標識とともに、出口部に赤いレーンマークにより、分かりやすい案内

平昌2018大会における輸送の状況

－ オリンピック時の交通マネジメント －

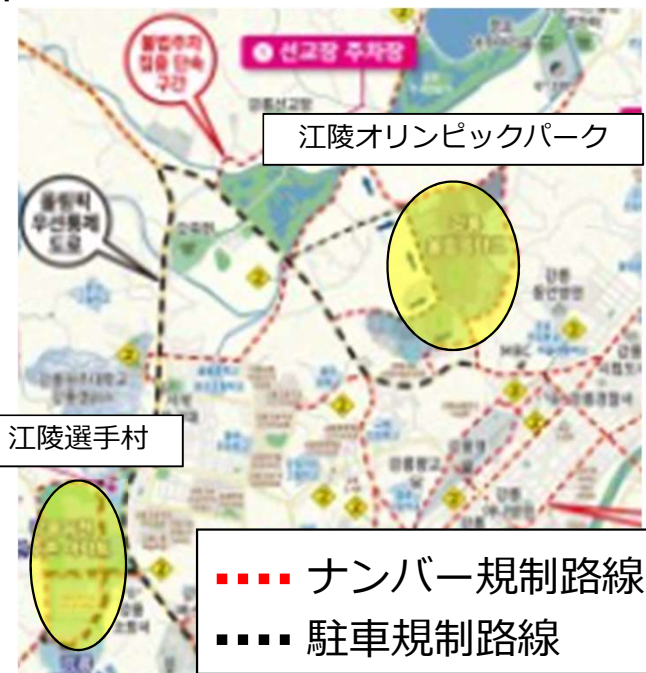
- ・ 江陵エリアにおいて、中心市街地(オリンピックパークを含む)の市内交通をナンバーにより規制（奇偶ナンバーによる2部制）
- ・ 業務用車両（事前申請）および郊外からの流入車両は対象外
- ・ CCTVにてナンバーを監視し、罰金は大会後請求予定
- ・ 代替措置として、市内バスの無料化と電車賃の割引を導入



取締除外車両



出典：平昌2018組織委員会 資料



交通規制 住民周知パンフレット

出典：江陵市 資料

平昌2018大会における輸送の状況

－ パラリンピック・ルート・ネットワーク －



①道路標識



②レーン標示

①道路標識等についてはパラリンピック用に変更

②一方、路面標示についてはオリンピックマークのまま変更なし

平昌2018大会における輸送の状況

－ パラリンピック時の関係者輸送（アクセシブルモビリティ）－

選手バス

- ・車いすの方が6～10名程度乗車。
- ・車いすの固定は行っていない。



フリート

- ・車いすの方が1名乗車。
- ・手動スロープによる乗降。
- ・車いすを固定し、シートベルトも装着。



平昌2018大会における輸送の状況

－ 公共交通のアクセシビリティ（バス）－



燃料電池バス



車内の様子

- ・ 江陵駅～江陵オリンピックパーク間のアクセシブルシャトルバスは、燃料電池バス（現代製）を使用。車いすは4台乗車可能
- ・ その他、ローフロアのアクセシブルシャトルを、ソウル市等の韓国全土から調達するとともに、廃車車両も活用